

Link-Live クイックガイド

目次

●アカウント作成 …P.3

●組織の作成 …P.6

●組織への招待 …P.7

●装置の要求 …P.9

●装置の要求取消 … P. 13

●グラフ操作について … P. 14

●結果 … P. 16

●アップロードされたファイル … P. 18

●Analysis(解析) … P. 19

●AirMapper … P. 22

・ InSites … P. 27

・メニューについて … P. 28

●AirMapper ～レポートについて … P. 29

・ Viewの作成 … P. 29

・テンプレート管理 … P. 30

レポートを作成 … P. 32

●装置 … P. 36

●アプリ … P. 38

●Share Album … P. 39

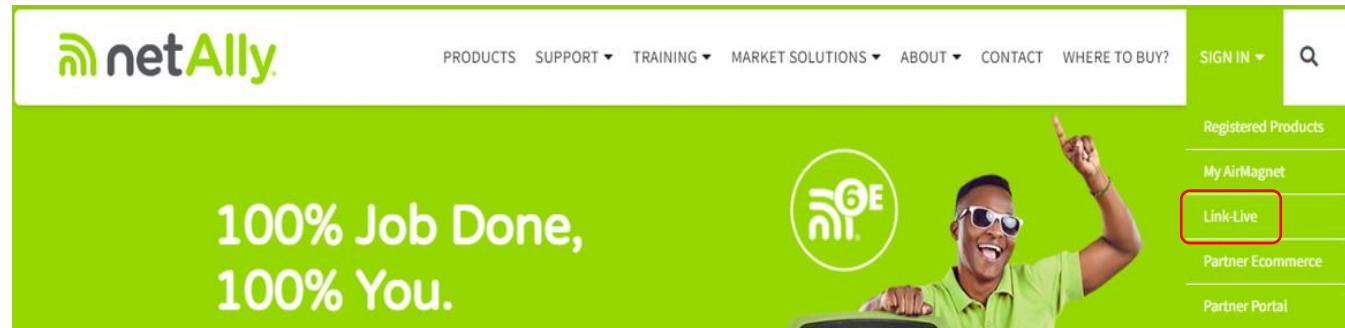
●ソフトウェアダウンロード … P. 41

アカウント作成

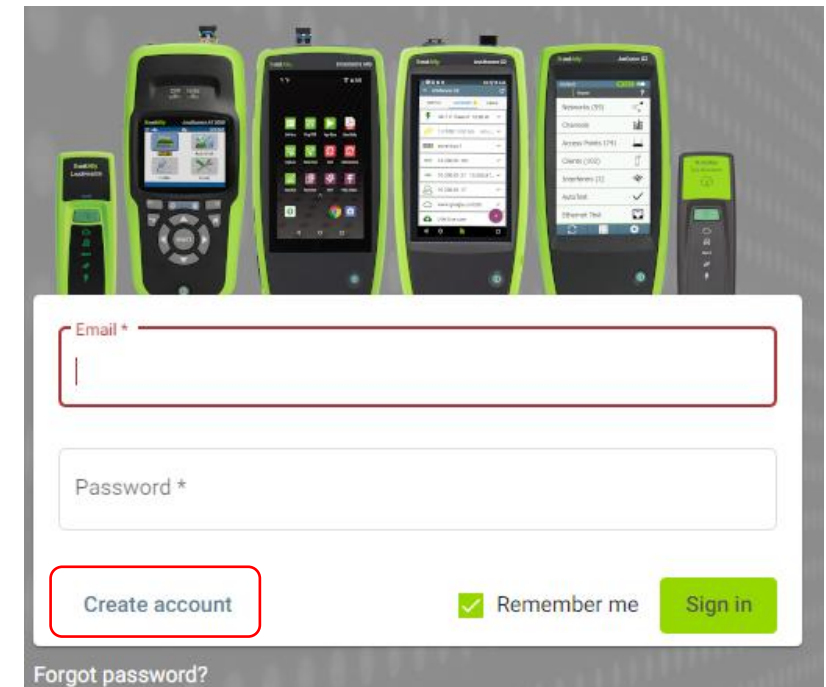
①次の URL にアクセスしてください。

<https://www.netally.com/>

右上の[SIGN IN]をクリックし [Link-Live]を選択します。



②[CREATE ACCOUNT]をクリックします。

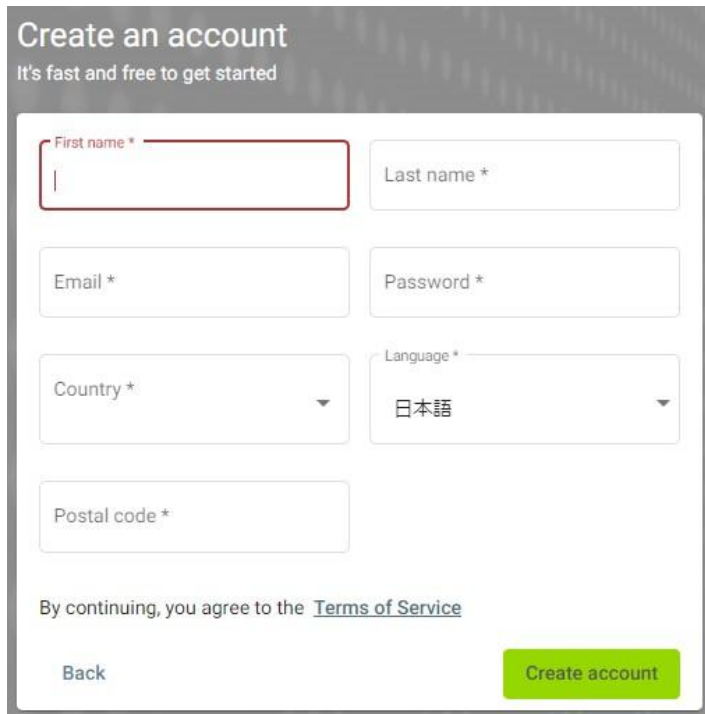


アカウント作成

③必要事項を記入します。

注意:パスワードは、次の条件があります。

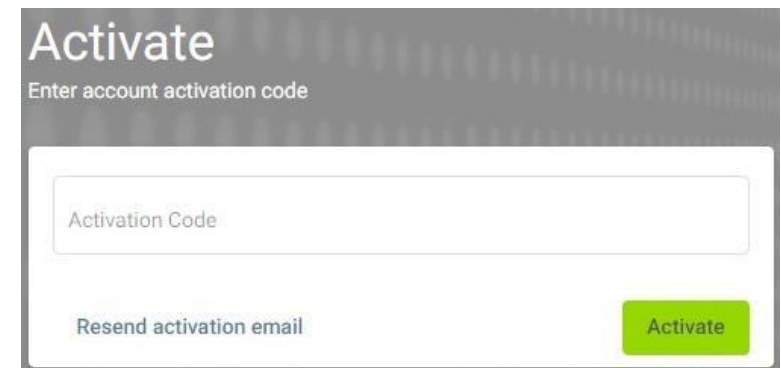
- ・8文字以上であること
- ・大文字/小文字を識別します。
- ・1文字以上の大文字を含むこと
- ・1文字以上の小文字を含むこと
- ・1文字以上の数字
- または特殊文字(!#など)を含むこと



④入力したメールアドレスに案内が送信されます。 受信したメールの[今すぐ有効化]をクリックもしくは[リンク]をクリックしてアクティベーション・コードを入力します。



⑤リンクをクリックした場合、以下のアクティベーション入力画面が表示されますので、アクティベーション・コードを入力してください。



アカウント作成

⑥アカウントが有効化されるとログイン画面に移行します。メールアドレスとパスワードを入力し[**SIGN IN**]をクリックします。



Sign in
Sign into your account

Email Address *
入力したメールアドレスが表示されます。

Password *
.....
[Forgot your password?](#)

☒ Remember me
New user? [Sign up now](#)

SIGN IN

⑦組織の作成画面が表示されます。任意の組織名を入力し、[組織を作成]をクリックします。



組織を作成

組織名 *
〇〇の組織

組織を作成

組織の作成

①組織の作成画面が表示されます。任意の組織名を入力し、[組織を作成]をクリックします。

組織を作成

組織名*

〇〇の組織

組織を作成

②装置の要求が必要な場合は該当製品をクリックし、表示される手順に従い登録をします。不要な場合は右上の×をクリックして閉じます。(装置の要求は後からでも可能です。※「[装置の要求](#)」を参照してください。)



組織への招待

①画面右上にある組織名をクリックし「招待」を選択します。



②組織に招待する「メールアドレス」を入力し、アカウント権限「管理者」または「読み取り専用」を選択し「招待を送信」をクリックします。



メモ: 読み取り専用アカウントで出来ないこと

- すべての削除権限なし
- リモート不可
- 結果フォルダのレポート生成不可
- フロアプランをユニットへプッシュ不可
- アプリアップロード不可

③招待メールを受信したら、「今すぐサインイン」をクリックします。



組織への招待

④アカウント情報を入力します。



Account creation form with fields for Email and Password. The Password field is highlighted with a red border. Below the fields are buttons for 'Create account', 'Remember me', and 'Sign in'. A link for 'Forgot password?' is at the bottom left.

⑤画面右上にある組織名をクリックし「組織を管理」を選択します。



⑥アカウントが追加されていたら招待成功です。



User management interface for TOYO-Test-Team. The 'Users' section is highlighted with a red box, showing a table of users.

組織	Link-Live に保管しない	保留中の招待
TOYO-Test-Team	<input type="checkbox"/> スイッチ IP <input type="checkbox"/> ゲートウェイ IP <input type="checkbox"/> DHCP <input type="checkbox"/> IP アドレス <input type="checkbox"/> パブリック IP	
所有者: [redacted]		
Eメール: [redacted]		
言語環境設定: 日本語		
<input type="checkbox"/> Enforce two-factor verification		
ユーザー		
Eメール	ユーザー	役割
[redacted]	Kohei TEST	管理者
		参加済み 13:52 2023/01/24

装置の要求

例: EtherScope nXG

①装置の要求はログイン後の画面にて「装置」→「装置の要求」の順にクリックをするを行うことができます。複数の装置を登録可能です。

②該当製品をクリックし、表示される手順に従い登録をします。

③有線 or 無線でネットワークに接続

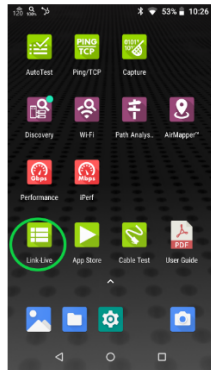


装置の要求

例:EtherScope nXG

④ユニット側でLink-Liveをタップ

Claim EtherScope nXG Unit



Select the Link-Live app

戻る 続行

⑤下の画面が表示されたら、ユニット側で[今から登録]をタップ

Claim EtherScope nXG Unit

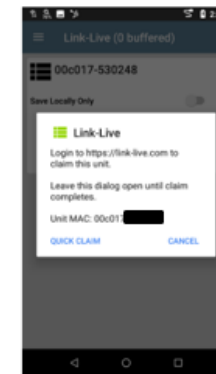


Select CLAIM NOW

戻る 続行

⑥ユニットに表示されているMACアドレスを入力し、[リスン]を押下

Claim EtherScope nXG Unit



MAC アドレス: 00c017-530248
Enter the MAC of the unit and click LISTEN.

戻る リスン

装置の要求

例: EtherScope nXG

⑦この画面が表示される場合がありますが、「それでも要求」を押下

装置はすでに要求済みです 00C017- [redacted] X

✓ この装置はすでに要求され、この組織に加えられています。使用してかまいません。

完了 それでも要求する

⑧完了するまで待機

装置の要求 00C017- [redacted] X



Be sure that your unit is connected to an active network.

Having Trouble Claiming? See our KB article! [\[icon\]](#)

装置の要求

例: EtherScope nXG

⑨装置に任意の名前を入力

⑩要求したユニットが登録されてる事を確認し、表示があれば登録完了です。

装置の要求 00C017-XXXXXXXXXX

Name

DEMO EtherScope nXG XXXXXXXXXX

Unit

Unit with MAC address 00C017-XXXXXXXXXX

完了

Link-Live™ 装置

検索

LinkSprinter

最終検出

(11)

DEMO EtherScope nXG - XXXXXXXXXX 14:49

2022/12/27

DEMO05 AirCheck G3 XXXXXXXXXX 14:47

2022/12/27

Kohei's LinkRunner AT XXXXXXXXXX 15:37

2022/12/20

ラベルを追加

DEMO EtherScope

2022/12/27 14:49

詳細

MAC

シリアル

タイプ

System Version

Application Version

Link-Live (0 buffered)

DEMO EtherScope nXG - XXXXXXXXXX

組織: toyo-support team

E-mail: k XXXXXXXXXX s XXXXXXXXXX

AllyCare: 有効 (12/31/2022まで有効)

MAC: XXXXXXXXXX

インターフェース: Wi-Fi 管理ポート (Link-Live へ到達)

Link-Live有効化 ☒

ローカルのみに保存 ☐

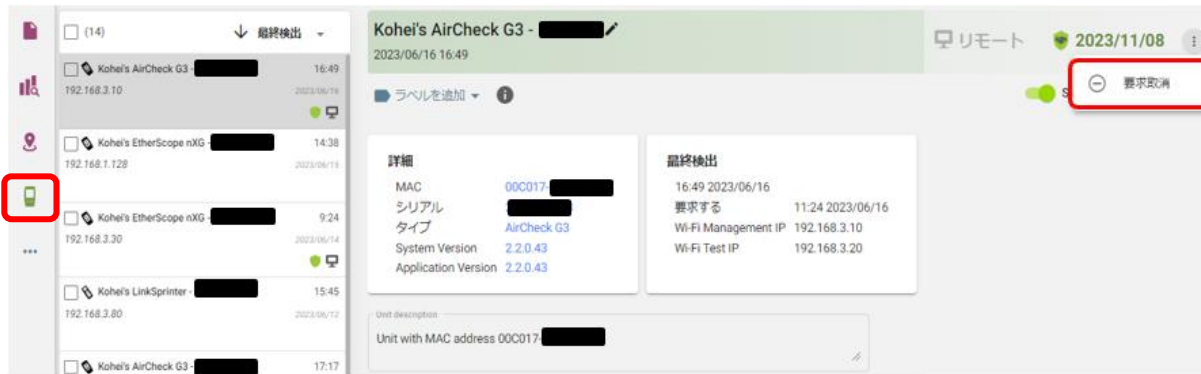
ブラウザで開く

12

装置の要求取消 (機器の登録解除)

Link-Liveでの取消方法

📱 をクリックし、装置の画面に移動します。⋮ をクリックし [要求取消] をクリックします。



AirCheckG3、EtherScopeでの取消方法

本体の[Link-Live] → ☰ → [About] から装置の要求取消をタップします。



グラフ操作について

Link-Liveで表示されるデータグラフの各項目は入れ替える事ができます。

ドラッグしながら左右に移動可能

Channel	Signal	SNR	Band	Type	Securities
40	-9 dBm	82 dB	5 GHz	ac	WPA2-P
13	-54 dBm	37 dB	2.4 GHz	n	WPA2-P
11	-64 dBm	27 dB	2.4 GHz	n g b	WPA2-P
132	--	--	5 GHz	ac	WPA2-P WPA3-SAE
104	-84 dBm	8 dB	5 GHz	n a	WPA2-P
13	-65 dBm	26 dB	2.4 GHz	n	WPA2-P
104	--	--	5 GHz	ac	WPA2-P
132	--	--	5 GHz	--	WPA2-P WPA3-SAE
40	-56 dBm	35 dB	5 GHz	ac	WPA2-P
104	-81 dBm	11 dB	5 GHz	ac	WPA2-P
40	-71 dBm	20 dB	5 GHz	--	WPA2-P
104	-78 dBm	14 dB	5 GHz	--	WPA2-P
12	-60 dBm	31 dB	2.4 GHz	--	WPA2-P

フィルターができます。

チャンネル	中心周波数	周波数レンジ	幅
128	5.640 GHz	5.630 - 5.650 GHz	20 MHz
1	2.412 GHz	2.402 - 2.422 GHz	20 MHz
2	2.417 GHz	2.407 - 2.427 GHz	20 MHz
3	2.422 GHz	2.412 - 2.432 GHz	20 MHz
69E	6.295 GHz	6.285 - 6.305 GHz	20 MHz
4	2.427 GHz	2.417 - 2.437 GHz	20 MHz

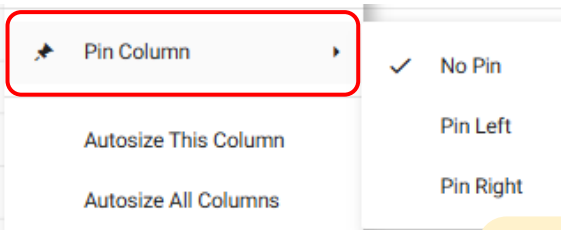
グラフの各列タイトルにある、メニューアイコンをクリックすると右のメニューが表示されます。

- ↑ Sort Ascending
- ↓ Sort Descending
- ≡ Column Filter
- 📌 Pin Column
- Autosize This Column
- Autosize All Columns
- 🔲 Choose Columns
- Reset Columns

グラフ操作について

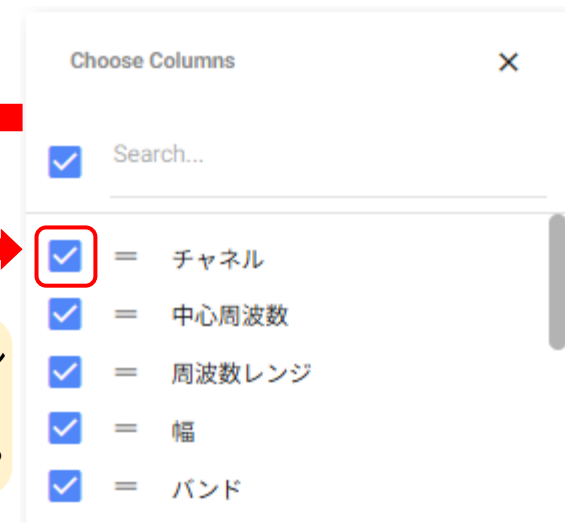
↑ Sort Ascending	← 昇順でソートできます。
↓ Sort Descending	← 降順でソートできます。
≡ Column Filter	← フィルターができます。
📌 Pin Column	←
Autosize This Column	← この列のサイズを自動調整します。
Autosize All Columns	← 全ての列のサイズを自動調整します。
⌵ Choose Columns	←
Reset Columns	← 全ての列の設定をリセットします。

「Pin Column」をクリックすると、No Pin、Pin Left、Pin Rightが表示されます。



「No Pin」: デフォルトの位置に戻ります。
「Pin Left」: 列が最左部に移動します。
「Pin Right」: 列が最右部に移動します。

チェックの有無で列の表示、非表示の設定ができます。



結果



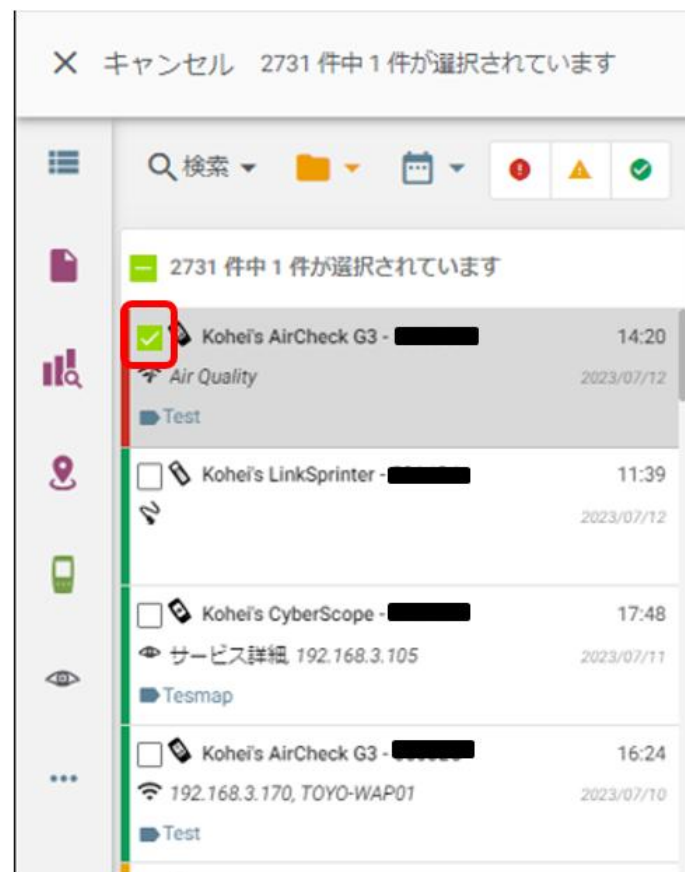
Link-Liveの結果アイコンをクリックするとアップロードされたテスト結果が表示されます。

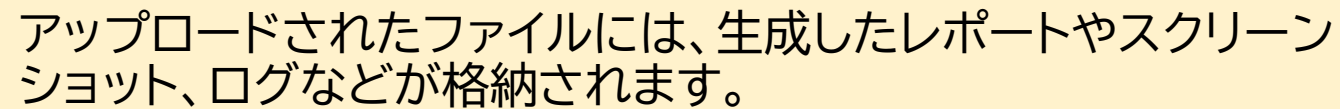
The screenshot displays the Link-Live interface. On the left, a sidebar shows a list of test results for 'Kohei's AirCheck G2' and 'Kohei's AirCheck G3'. The main area shows a detailed view of a test result for 'Kohei's AirCheck G2' dated 2023/06/19 13:05. The test details are organized into several sections:

- テスト (Test):** Kohei's AirCheck G2, MAC 00C017, デバイス AirCheck G2, タイプ 無線, プロファイル Default, ファームウェア 5.2.0.1862.
- リンク (Link):** PHY レート 780 Mbps, 最大PHY レート 780 Mbps, 通知されたレート 780 Mbps, 再試行レート 0%, 信号 -39 dBm, ノイズ -92 dBm, SNR 53 dB.
- アクセス・ポイント (Access Point):** d4.2c:46:c3:1a:82, SSID TOYO-WAP01, BSSID d4.2c:46:c3:1a:82, 802.11 タイプ a, n, ac, ax, チャンネル 104.
- DHCP:** IP 192.168.3.83, サーバー 192.168.3.1, サブネット 255.255.255.0.
- DNS:** DNS 1 192.168.3.1, 3 ms, 2 ms, 2 ms.
- ゲートウェイ (Gateway):** IP 192.168.3.1, PING 2 ms, 3 ms, 3 ms, パブリック 180.57.225.246.
- PING:** www.google.com, IP 142.250.207.100, 15 ms, 11 ms, 18 ms.

結果

テスト結果一覧にある任意のデータにチェックをいれ、右下部にあるメニューをクリックすると「PDF」または「CSV」にてレポートを生成できます。生成されたレポートは「アップロードされたファイル」に保存されます。

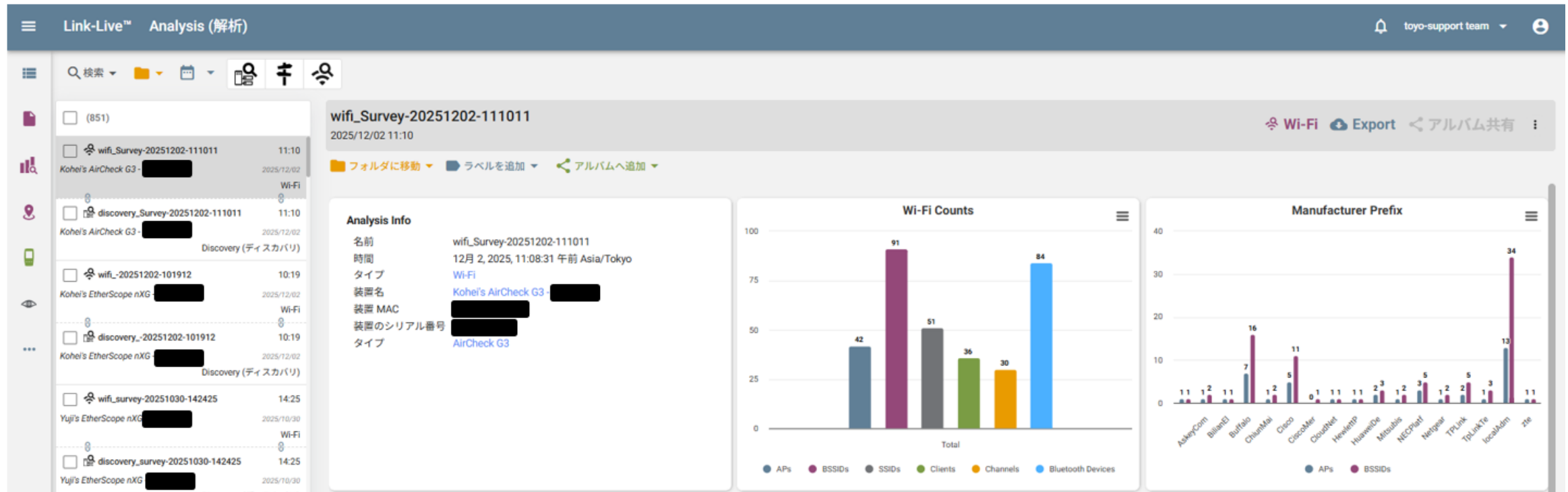




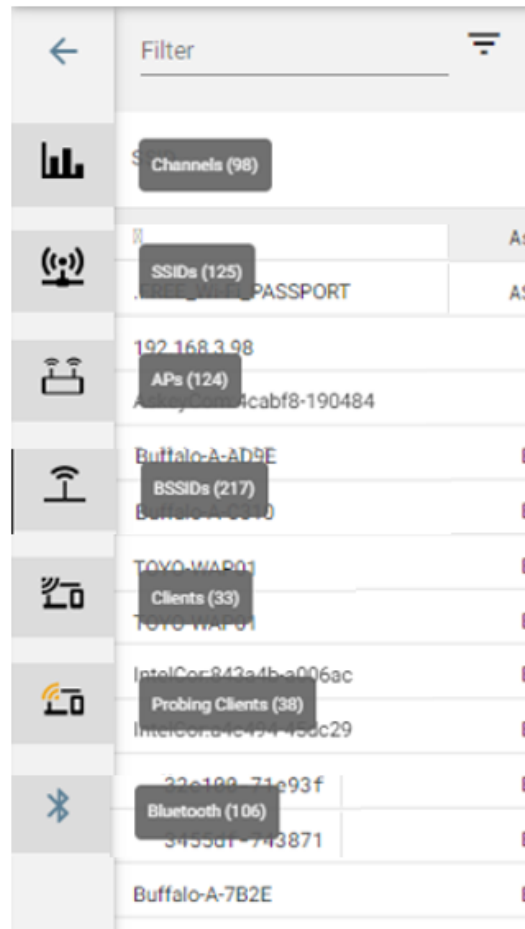
Analysis(解析)



解析アイコンをクリックすると、ディスカバリ、Wi-Fiアプリのデータ一覧が表示されます。



Analysis(解析)



Wi-Fi を選択すると、左の画像のメニューが表示され、それぞれの項目を軸としたデータが選択できます。
※データにより表示項目は異なります。

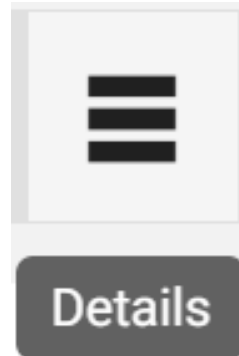
グラフに操作については「[グラフ操作について](#)」を参照してください。

Analysis(解析)

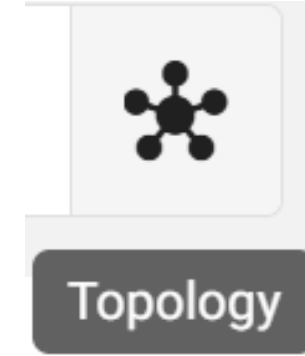
 Discovery (ディスカバリ)




各データのグラフ表示ができます。



データの詳細表示ができます。



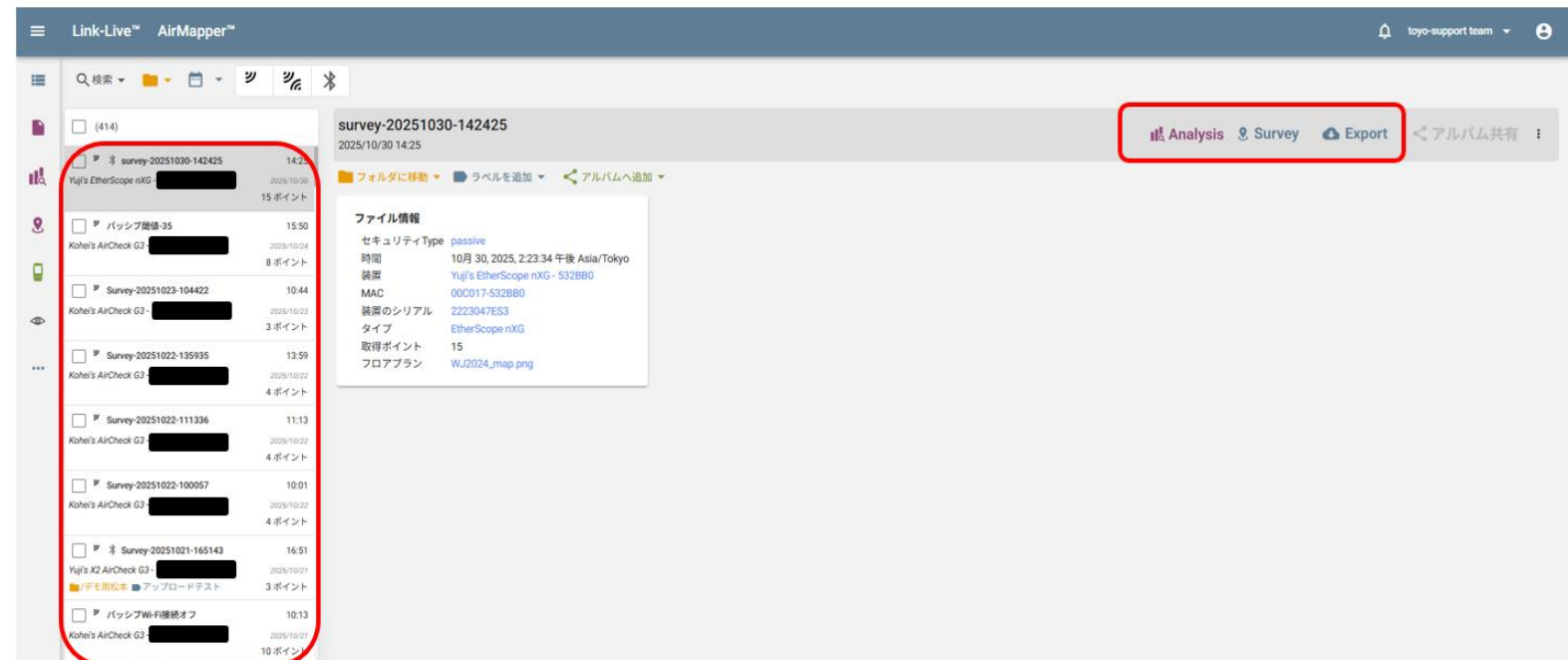
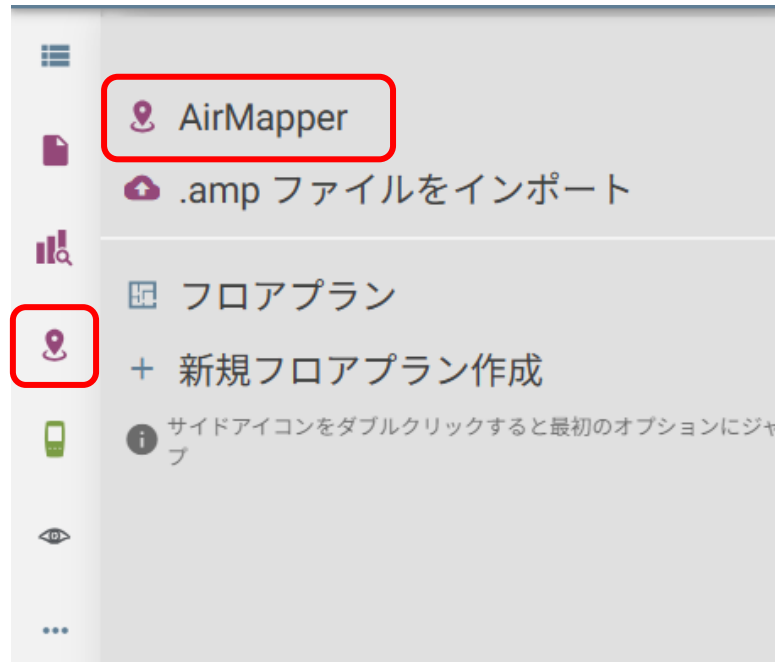
トポロジーマップの表示ができます。

 Discovery (ディスカバリ) を選択すると、左上部の各アイコンを選択することで表示を変更できます。
※データにより表示項目は異なります。

AirMapper

AirMapperアプリでサイトサーベイをしたデータのヒートマップ表示、データ解析ができます。
左側のメニューから「AirMapper」を選択します。

「AirMapper」を選択後、データの一覧、Analysis、Surveyのヒートマップ、Exportなど表示されます。



AirMapper

データを選択すると、以下の項目が表示されます。
※データにより表示項目は異なります。

パッシブサーバイで取得したデータの
ヒートマップ表示できます。



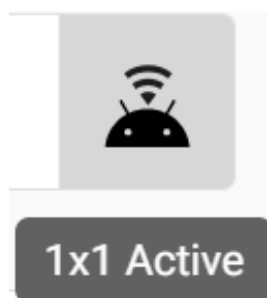
アクティブサーバイで取得したデータの
ヒートマップ表示できます。



プローブ中デバイスのヒートマップ
表示できます。



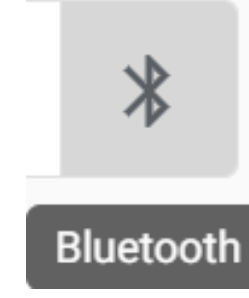
Wi-Fi接続しているSSIDの
ヒートマップが表示できます。



クライアントデバイスのヒートマップ
表示できます。



BLE/Bluetoothのヒートマップ
が表示されます。※本体で設定をOFF
にしていると測定されませんので、その場合
表示されません。



AirMapper

各項目のヒートマップ表示ができます。



レジェンドバー

「InSites」
閾値を設定すること
により、自動合否判
定ができます。

Insites



データのフィルタ
リングがしま
す。

Filters



「Locations」に
チェックすると表
示されます。表示
させたいAPの選
択ができます。

Locations



レポートに関連す
るメニューが選択
できます。

チェックした項目
はヒートマップに
表示されます。



ヒートマップの
円(信号伝搬予
測値)の大きさを
変更できます。

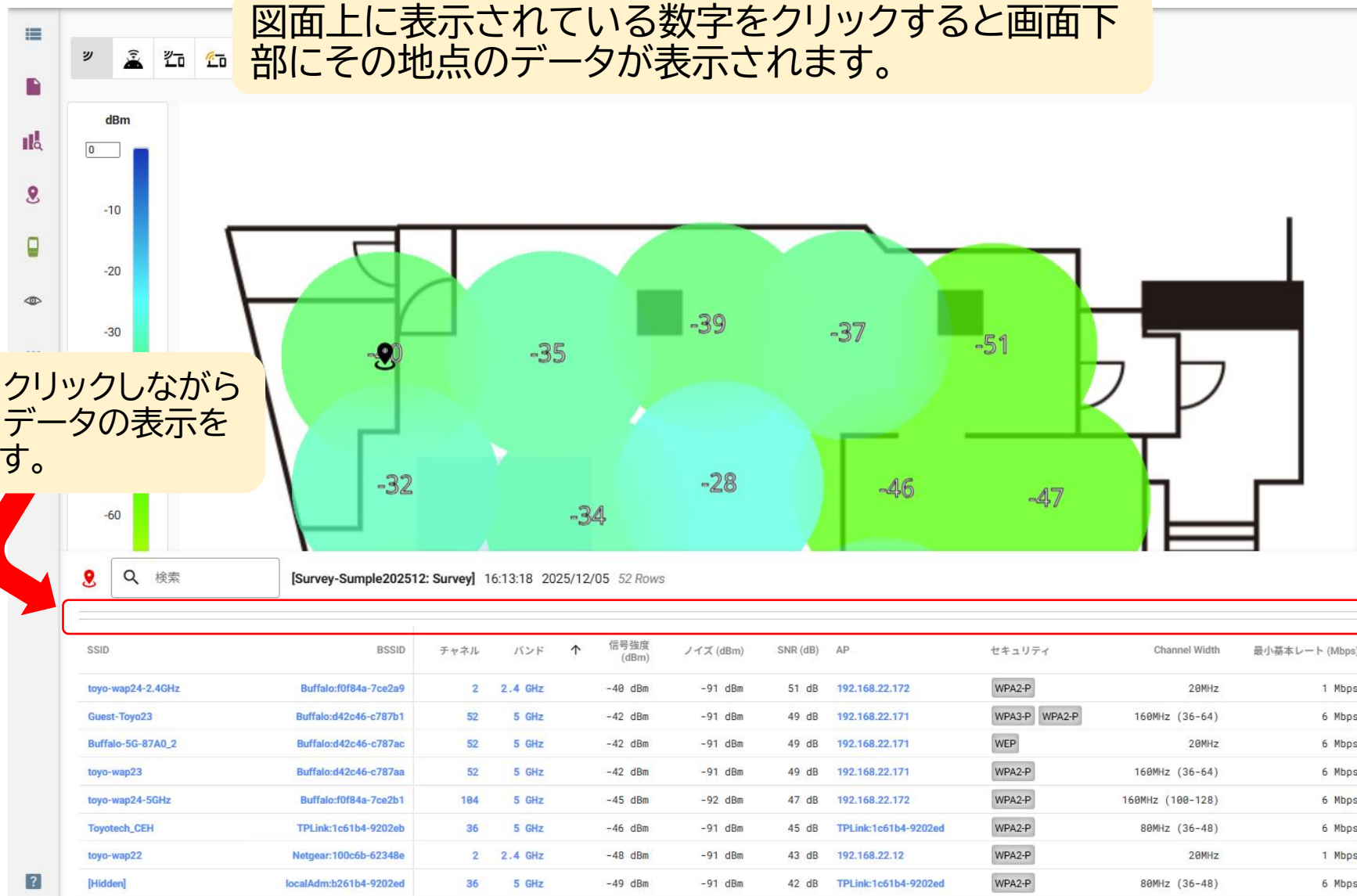
ヒートマップの
回転ができます。

Rotate

AirMapper

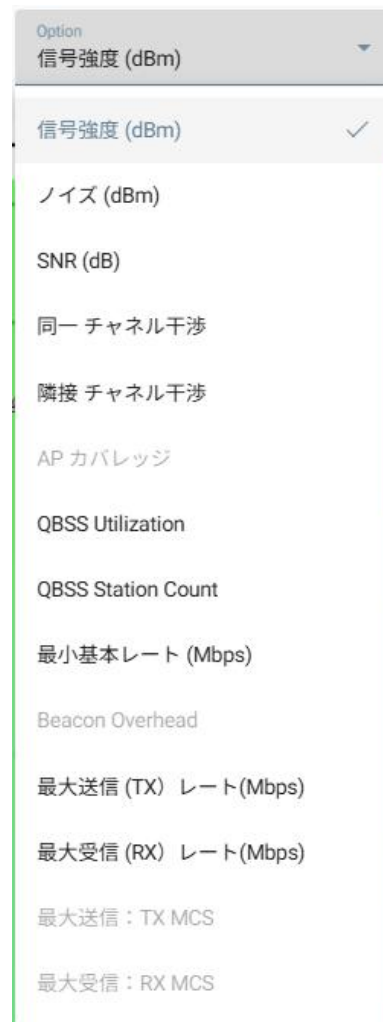
図面上に表示されている数字をクリックすると画面下部にその地点のデータが表示されます。

赤枠内辺りをクリックしながら上に上げるとデータの表示を大きくできます。

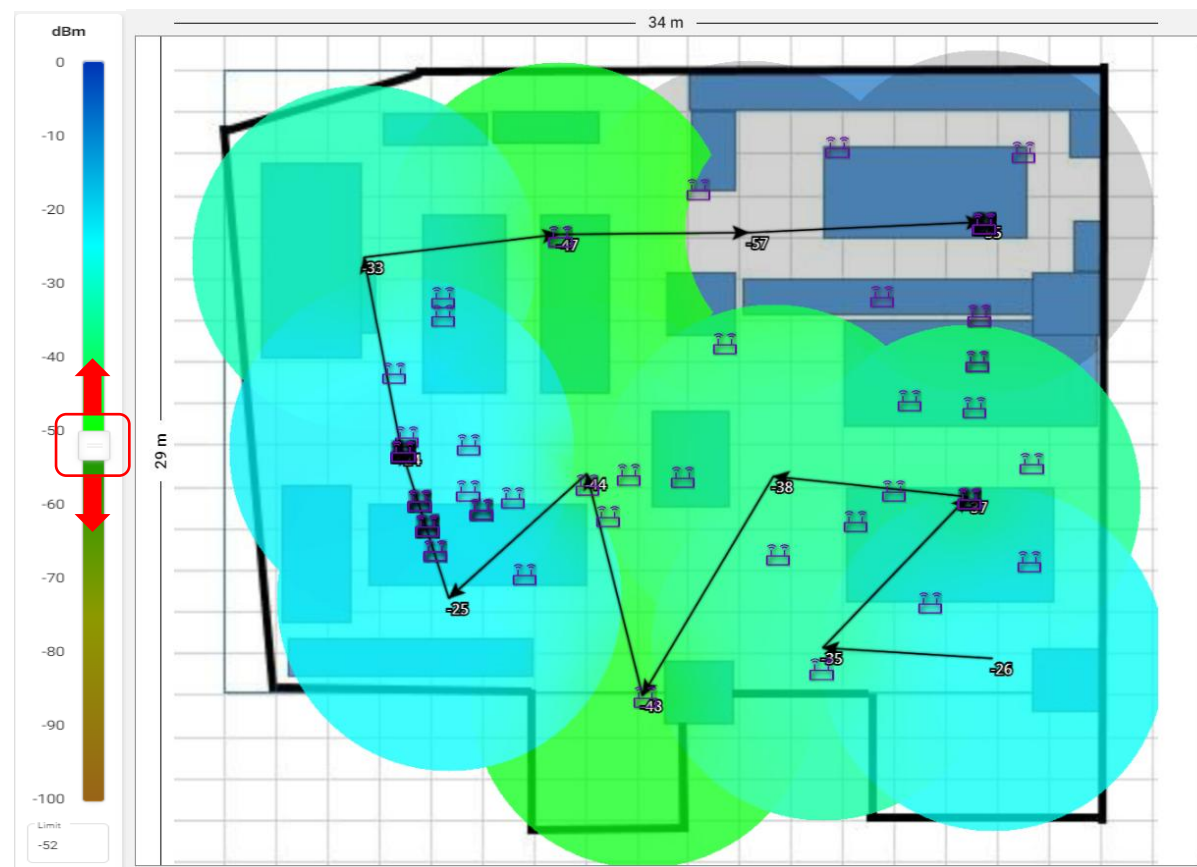


AirMapper

データは右の画像にある表示項目で
ヒートマップの変更ができます。
※すべてのフィルタリング項目を使用するには
AllyCareサポート契約が必要です。





レジェンドバーを上下に操作することで、
指定した数値以下をグレイ表示にすることが
できます。直接数字を入力すること
も可能です。







AirMapper ~InSites~


「InSites」は、閾値を設定することにより、自動合否判定ができます。

①  をクリックすると右の画面が表示されます。

 InSites


 Run
  Reset
  View
  保存

InSites しきい値

☒ 1st AP カバレッジ 


しきい値 (dBm)

-65

☒ 2nd APカバレッジ 


しきい値 (dBm)

-70

☐ 3rd AP カバレッジ 


しきい値 (dBm)

-75

☒ SNR (dB) 


しきい値 (dB)

25

☒ 同一チャンネル干渉 


しきい値 (APs)

4

☒ 隣接チャンネル干渉 

しきい値 (APs)

1

☒ QBSS Utilization 

②任意の閾値を設定し「Run」をクリックすると結果が表示されます。

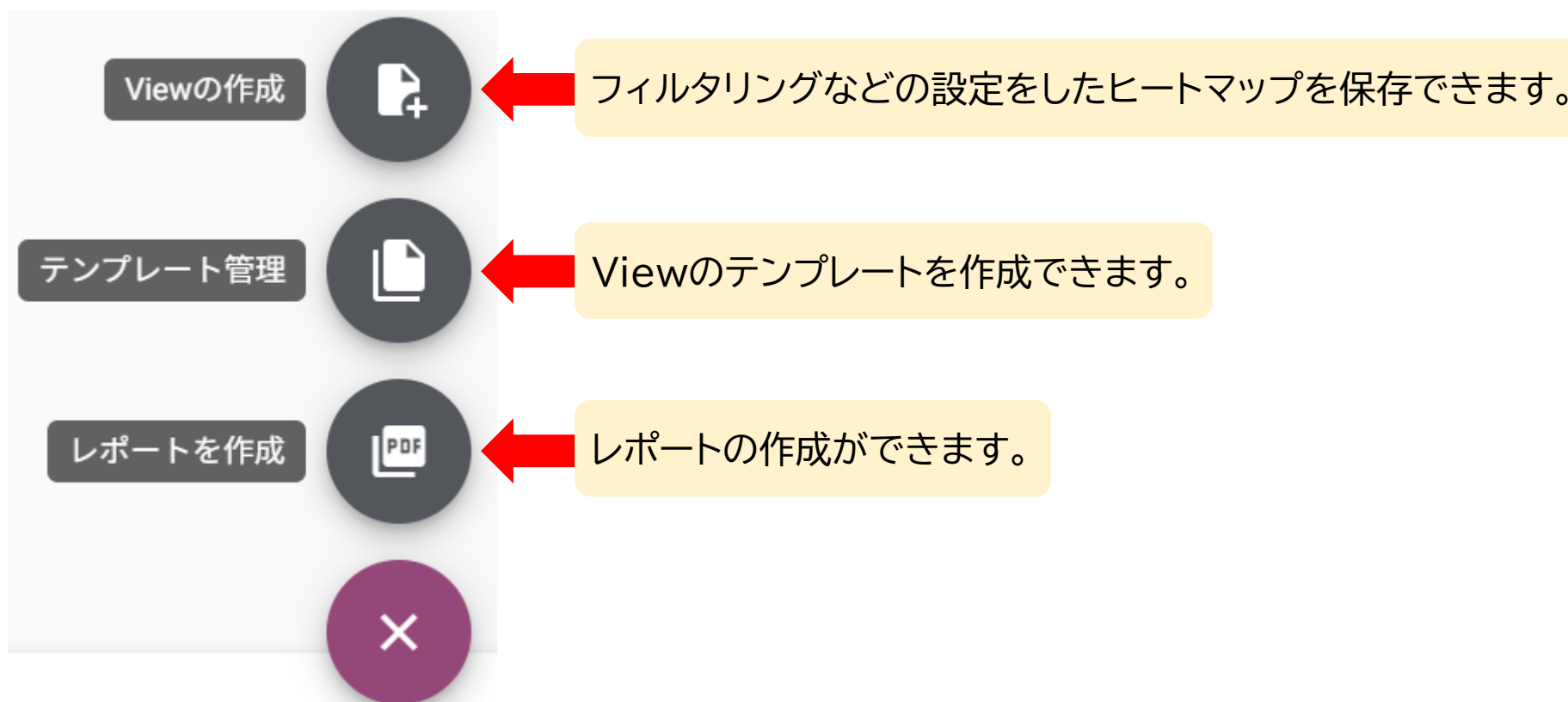
 InSites

 View
  Edit Settings
  レポート
  保存

InSites

Option	判定	しきい値	最悪値		
1st AP カバレッジ	合格	-65 dBm	-51 dBm		
2nd APカバレッジ	合格	-70 dBm	-53 dBm		
SNR (dB)	合格	25 dB	40 dB		
同一チャンネル干渉	不合格	4 APs	6 APs		
隣接チャンネル干渉	不合格	1 APs	21 APs		
QBSS Utilization	不合格	50 %	74.1 %		
QBSS Station Count	合格	20 Clients	12 Clients		
最大送信 (TX) レート (Mbps)	合格	512 Mbps	2882.4 Mbps		
Beacon Overhead	不合格	15 %	17 %		
注意すべきBSSIDs	不合格	1 BSSIDs	51 BSSIDs		

AirMapper ~メニューについて~



AirMapper ~Viewの作成~

「Viewの作成」を作成することにより、作成したViewをレポートに追加することができます。
また、「テンプレート管理」に追加することで、Viewの作成の設定が他のデータでも使用できます。

①「Viewの作成」をクリックすると右の表示がされます。

Viewの作成

View 名称*

説明

Option
信号強度 (dBm)
フィルタ

②任意のタイトルと説明を入力します。


設定された情報が表示されます。

③保存をクリックします。

AirMapper

～テンプレート管理～

「テンプレート管理」を作成することにより、他のサーベイデータにも作成したテンプレートをレポート生成時に使用することができます。

①「テンプレート管理」をクリックすると以下の表示がされます。「新規テンプレート」をクリックします。

テンプレート管理 

Views 

Test

Details

適用

削除

閉じる

テンプレート 

テンプレートが追加されていません。"New template" をクリックしてください

Viewの作成

新規テンプレート

②任意のタイトルと説明を入力し「保存」をクリックします。

テンプレートを作成

テンプレート名*

Testテンプレート

説明

テスト

閉じる

保存

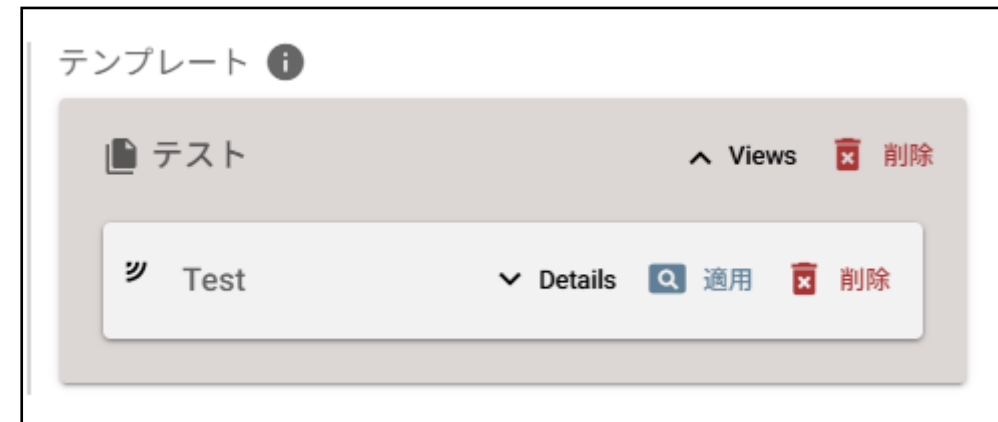
AirMapper

～テンプレート管理②～


「テンプレート管理」を作成することにより、他のサーベイデータにも作成したテンプレートをレポート生成時に使用することができます。

③テンプレートが作成されたら、作成したViewをクリックしながら「ドラッグ&ドロップ」をし事前に作成してある「テンプレート」に追加します。

Viewがテンプレートに追加されました。




AirMapper ～レポートを作成～

レポートを作成するには「レポートを作成 」をクリックします。
クリックすると以下の表示がされます。

有効にすると、任意のロゴを
レポートに挿入できます。
※ロゴはレポート1ページ目
の右上に表示されます。

各項目任意の入力をし、
「次へ」をクリックします。

 レポートを作成

1 レポートの表紙

2 Report Type

3 完了

☐ 選択したロゴを使用

タイトル*

0622test レポート

ラベル

サブタイトル

説明

閉じる

次へ

AirMapper ～レポートを作成～

レポートを作成

1 レポートの表紙 ————— 2 Report Type ————— 3 Viewを選択 ————— 4 完了

☒ Views Based Report
☐ Template Based Report

閉じる

戻る 次へ

作成したViewを使用するか、テンプレートを使用するか、どちらかにチェックをし「次へ」をクリックします。
 「Views Based Report」を選択した場合は、34ページへ
 「Templates Based Report」を選択した場合は、35ページへ

AirMapper ~レポートを作成~ Views Based Report

「Views Based Report」を選択すると以下の表示がされます。

「レポートを作成」をクリックした時点のViewがレポートに表示されます。

作成した「Viewの作成」が表示されるので、追加したいものにチェックをいれます。

レポートを作成

1 レポートの表紙 — 2 Report Type — 3 Viewを選択 — 4 完了

全て選択を解除 全て選択

✓ 現在のView 詳細表示 =

✓ Test 詳細表示 =

閉じる 戻る 生成

表示順の入れ替えができます。

「生成」をクリックすると、レポートの生成が開始されます。レポートは「アップロードされたファイル」に格納されます。

AirMapper ~レポートについて~ Templates Based Report

「**Templates Based Report**」を選択すると以下の表示がされます。

必要に応じて、フィルタリングしたいSSIDにチェックをします。

レポートを作成

レポートの表紙 Report Type テンプレートを選択 (Optional) Override 完了

25/7/18 テスト

TOYOテンプレートサンプル

作成した任意のテンプレートを選択し、「次へ」をクリックします。

new

TOYO Manage Templates test

閉じる 戻る 次へ

レポートを作成

レポートの表紙 Report Type テンプレートを選択 (Optional) Override 完了

SSID AP BSSID

.FREE_WI-FI_PASSPORT

[Hidden]

生成

「生成」をクリックすると、レポートの生成が始まります。レポートは「アップロードされたファイル」に格納されます。

閉じる 戻る 生成

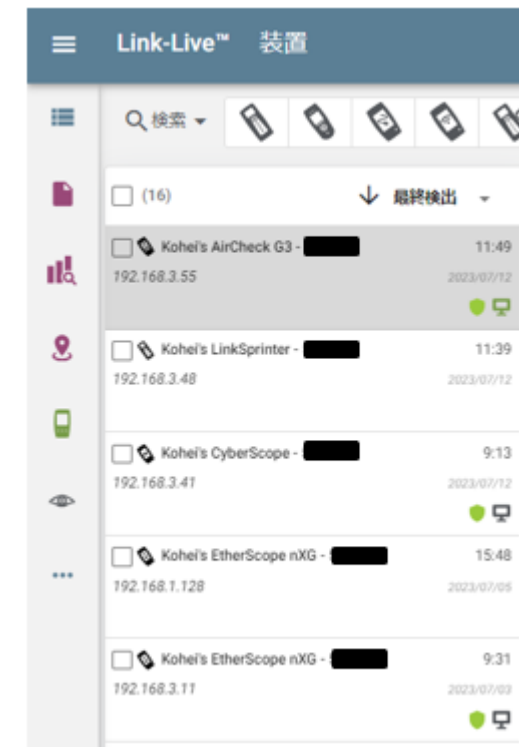
装置

「装置」アイコンをクリックすると以下の3つのメニューが表示されます。



「装置」をクリックすると登録している装置の一覧が表示されます。※装置登録手順は「[装置の要求](#)」を参照してください。

「設定」をクリックすると各ユニットの設定やアップロードされたプロファイルが表示されます。



装置

The screenshot shows the Kohei's AirCheck G3 web interface. The left sidebar lists various devices, including Kohei's AirCheck G3, Kohei's LinkSprinter, Kohei's EtherScope nXG, and Kohei's LinkRunner AT. The main panel displays details for a selected device, Kohei's AirCheck G3, including its MAC address, serial number, type, system version, and application version. The 'Pair Unit' section at the bottom shows a list of units that can be paired with the selected device.

Annotations:

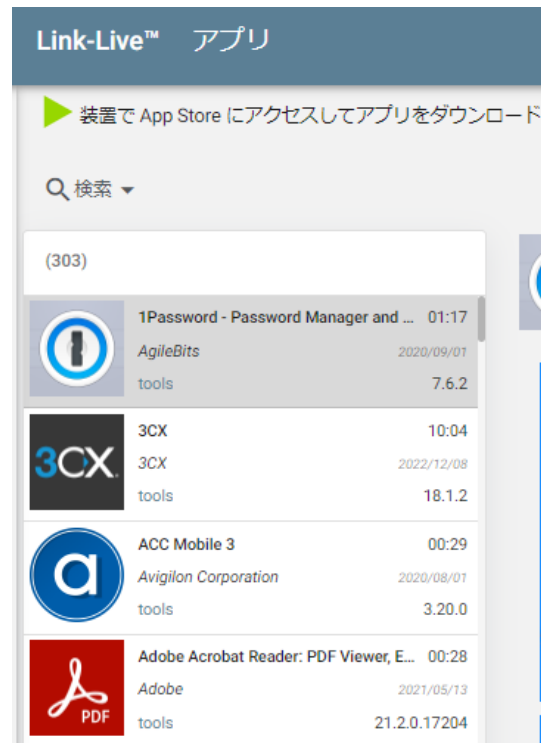
- Unit Switching:** A red box highlights the top navigation bar with icons for different device types. A yellow callout box states: "ユニット毎の表示に切り替えができます。" (You can switch the display for each unit).
- AllyCare Support:** A red box highlights a green icon in the device list. A yellow callout box states: "AllyCareサポートに加入しているユニットは、このマークが表示されます。" (Units that have joined AllyCare support will display this mark).
- Remote Operation:** A red box highlights the "リモート" (Remote) button. A yellow callout box states: "「リモート」をクリックすると、リモート操作ができます。 ※要AllyCareサポート契約" (Clicking "Remote" allows remote operation. ※Requires AllyCare support contract).
- AllyCare Validity Period:** A red box highlights the date "2023/11/08". A yellow callout box states: "AllyCare有効期限" (AllyCare validity period).
- Pair Unit:** A red box highlights a toggle switch in the "Pair Unit" section. A yellow callout box states: "「Pair Unit」を有効にすると、テスト結果がユニットに共有されます。" (Enabling "Pair Unit" allows test results to be shared with the unit).
- Device Requirement:** A red box highlights a "+" icon in the bottom right corner. A yellow callout box states: "装置の要求ができます。" (You can request the device).

アプリ

①「メニュー ≡」をクリックし「アプリ」をクリックします。



②ダウンロード可能なアプリ一覧が表示されます。「検索」から検索が可能です。



※アプリのダウンロードはユニットから可能です。

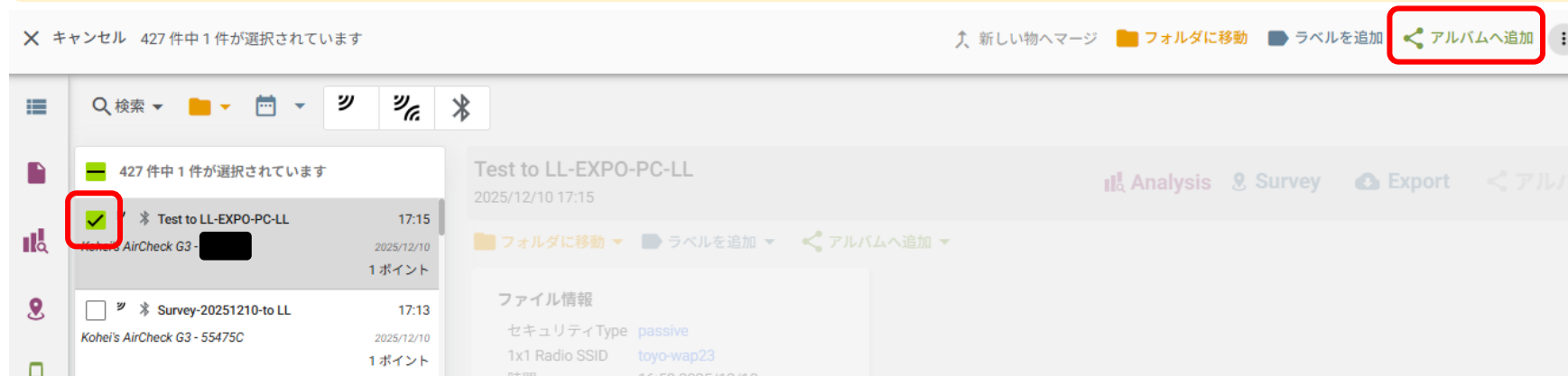


一覧に無いアプリをリクエスト可能です。NetAlly社が検証し問題なければダウンロード可能になります。

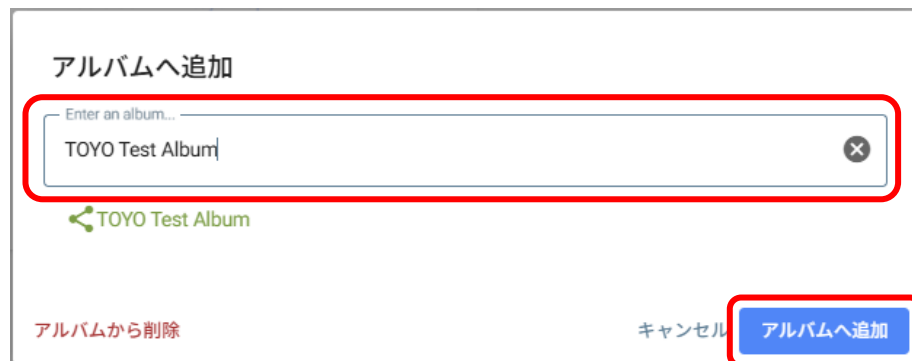
APKファイルでアプリのアップロードが可能です。

アルバム共有 ~Share Album~

①まずアルバムを作成します。共有したいデータにチェックをいれ、「アルバムへ追加」をクリックします。



②アルバム名を入力します。下部に表示されたアルバム名をクリックし、「アルバムへ追加」をクリックします。



③データにアルバム名のタグがついたことを確認します。



アルバム共有 ~Share Album~

④「アルバム共有」をクリックします。



⑤この画面が表示されたら、

・任意のタイトルを入力します。

・アルバムを選択します。

・共有する時間を設定します。
(共有時間を超えるとデータの閲覧はできなくなります。)

全て設定し、「リンクの生成」をクリックします。



「Password Mode」を選択した場合は、パスワードを設定します。

⑥共有するリンクが作成されます。コピーアイコンをクリックするとリンクのコピーができます。リンクはメモ帳などに控え、完了をクリックします。
※リンクはメールなど任意の方法で共有したいメンバーに伝えてください。



ソフトウェアダウンロード

① ... をクリックし、「Software Downloads」をクリックします。



② ダウンロードしたい製品のソフトウェアバージョンをクリックするとダウンロードが開始されます。

